

# 和歌山だよいい

令和4年  
(2022) 4月号



クマノザクラ (古座川町)

「世の中に絶えて桜のなかりせば春の心はのどけからまし」と在原業平が歌ったように、桜は古代から日本人に最も愛され親しまれてきた花です。  
また、昔から日本に自生していてその誕生に人の手が関わっていない「野生種」として、クマノザクラは2018年3月に約100年ぶりに発見された新種の桜で、古座川町の「町の桜」として指定されており、鮮やかなピンク色の花びらが訪れる多くの方々を魅了しています。(写真提供:公益社団法人和歌山県観光連盟)

## CONTENTS

- 1 知事メッセージ . . . . . p. 1
- 2 和歌山県政トピックス . . . . . p. 2～7
- 3 お知らせ . . . . . p. 8～11
- 4 ふるさと歳時記 . . . . . p. 12



## 誰のため

知事をやらせていただいて、いつも思うことは、県政は県民の幸せを図るためだということを実績に追求しないといけないということです。当たり前のことですが、世の中にはそれは違うんじゃないのと思うことも時々あります。

その1は、自分ファーストになったらいけないということです。政治家は選挙で選ばれますから、人気がないのは困りものです。しかし、次の選挙で受かることばかり考えて行政をしたら、人気があろうとなかろうと、政治や行政は無茶苦茶になって、人々の幸せは図れません。他国の例ですが、米国のトランプ前大統領はその意識が強すぎて、究極的には米国の利益になるはずの米国中心の国際秩序や同盟国との友好関係をずいぶん壊したと思います。

その2は、特定の人に利益誘導をしたらいけないということです。そんなことをしたら多くの人々が、自分たちはチャンスがないのかと元気がなくなり、地域の力が弱くなります。私は就任以来、この構造が制度的に起こりえないような改革を、官製談合に限らず、広く行ってまいりました。

その3は、県民といっても色々な人がいるので、最大多数の利益を考えなければならぬということです。県政の各項目については、賛成の人も反対の人もいて、問題点もあるものです。しかし、だからと言って、あれもだめ、これもだめと言っては、最大多数の幸せは図れません。自分たちの意見を入れないのは市民の声の無視だというのは少し言いすぎだし、一部問題があるから全部反対というのも少しやりすぎです。そういう声にも耳を傾け、問題点を1つ1つなくし、最大多数のためになると思うことを採用していくべきでしょう。

その4は、県民は今の我々だけではないということです。将来の世代まで考えた最大多数の幸せを考えないといけないと思います。今のままでよい、あれもいや、これも反対と言って立ち止まっていたら、時代の変化は将来の世代につらい思いをさせるでしょう。和歌山が将来栄え、将来の人々がその中でチャンスをいっぱいつかめるような選択をしていくべきでしょう。

和歌山県知事 仁 坂 吉 伸



3/21 和歌山県誕生 150 年記念式典にて

●「和歌山県誕生 150 年記念式典」を開催しました

和歌山県誕生 150 年という節目に、和歌山の歴史を振り返り、郷土についての理解と関心を更に深め、ふるさとを愛する心を育むとともに、未来を考える機会とすることを目的として、3月21日に「和歌山県誕生 150 年記念式典」を開催し、約 1,200 人が出席しました。

式典では、豊かな自然と文化を育みながら発展してきた和歌山県の 150 年の歴史を振り返る記念映像を上映しました。記念講演では、印南町出身で芥川賞作家の辻原登さんから「わが生地、わが聖地・熊野」をテーマに和歌山の風土についてご講演いただくとともに、東京大学先端科学技術研究センターフェロー御厨貴さんから「和歌山の近代 150 年を問う」をテーマにご講演いただきました。



熊野を語る辻原さん



「未来へのメッセージ」をテーマとした作文朗読

また、和歌山県誕生 150 年記念作文コンクール最優秀賞の小中高校生 3 名による「和歌山の未来へのメッセージ」をテーマとした作文朗読が行われました。

最後に、共に令和 2 年和歌山県文化奨励賞を受賞された橋本市出身で尺八奏者の辻本好美さんと、和歌山市出身でピアニスト

の中谷政文さんによる和歌山県文化表彰受賞記念演奏が行われました。

今も、世界中が新型コロナウイルス感染症というかつてない危機と闘っています。和歌山県には様々な困難を乗り越え、栄光を掴んできた歴史と、危機をバネに替え、底力を発揮できるような人を育む風土があります。このピンチを新たな未来を切り拓く絶好のチャンスと捉え、県民みんなが心をつなげて、これからの和歌山をつくっていきましょう。



辻本さん、中谷さんによる記念演奏

●令和3年度（第14回）プレミア和歌山推奨品が決定しました

県では平成20年度から県産品のブランド力の強化を図るため、農林水産物、加工食品、工芸品などの“和歌山のめぐみ”の中でも特に優れたものを和歌山県優良県産品『プレミア和歌山』として認定し、推奨しております。

さらに、推奨品に認定されたものの中から、全国レベルの商品力・訴求力があり、プレミア和歌山全体の知名度向上に寄与する産品に「プレミア和歌山推奨品審査委員特別賞」を授与し、特別賞に次ぐ特に優れた産品に「プレミア和歌山推奨品審査委員奨励賞」を授与しています。

3月22日、令和3年度のプレミア和歌山推奨品の発表会を開催し、知事から認定品の発表、審査委員会委員長の残間里江子<sup>ざんまりえこ</sup>さんから特別賞・奨励賞の授与を行いました。

また、今回の認定により1,193商品となったプレミア和歌山推奨品をより分かりやすく紹介するため、デジタルカタログとしてまとめました。

今年も幅広い分野の素晴らしい品々が出揃っております。デジタルカタログもご活用いただき、皆さんぜひお買い求めください。

【プレミア和歌山推奨品デジタルカタログ】

URL：<https://premier-wakayama.jp/digital-catalog/>



QRコード

◆◆ 特別賞 受賞推奨品 ◆◆

おおたきゆうすげんせい

《金山寺味噌【太田久助吟製】》

江戸時代末期、天保12年に建てられた蔵にて醸造。目には見えない酵母菌が、此处でしか生まれぬ味噌づくりを支えます。本製品は古い伝統を守りつつ、新しい味覚に添うべく日々研究を重ね、その天然の風味は広く称賛を賜るに至りました。米、大豆、裸麦の穀物原料すべてに麹をつけ、それに瓜、丸茄子、生姜、紫蘇を漬け込んだ長期保存食品かつ庶民の食卓の常備菜です。古伝の製法を守り、大量生産できる機械化に移行せず、一つ一つ手作業で製造しております。



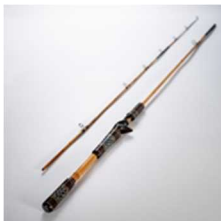
<審査委員評>

- ・先代のこだわりである大きめの野菜など、手作りならではの特徴が評価できる。他の商品と食感が違う。
- ・180年生きる蔵、目に見えない酵母菌が受け継いだ財産という、その歴史や意気込みが素晴らしい。

◇ 奨励賞 受賞推奨品 ◇



【紀州梅まぐる梅】  
(株式会社岩谷)



【竹製バスロッド】  
(紀州へら竿和人)



【本まぐる希少部位3点セット】  
(串本食品株式会社)



【いちじくプリンセス】  
(有限会社ロハス ロハス農園)

●フランス（パリ）でG I「和歌山梅酒」プロモーションを行いました

和歌山県農水産物・加工食品輸出促進協議会及びG I 和歌山梅酒管理委員会では、和歌山梅酒の魅力を広め、ブランド価値を向上・確立することを目指し、フランスにおけるG I「和歌山梅酒」ブランド化推進事業に取り組んでいます。

本事業の一環として、2月17日にパリで話題のミシュラン1つ星レストランにてプロ向けのプロモーションイベントを開催しました。イベントでは、昨年10月にG I「和歌山梅酒」のブランドアンバサダー（大使）に就任いただいた、フランスの有名女性ソムリエであるアマンディーヌ・パストゥレルさんによる和歌山梅酒セミナーが行われるとともに、和歌山梅酒とフレンチとのマリアージュ（組み合わせ）が提案されました。来場者からは、「フランス料理において、かつて例がなかった日本産リキュールとの極めて洗練された親和性に圧倒された」など高い評価をいただくとともに、多くの現地メディアにも掲載されました。イベントの様相やインタビュー動画もぜひご覧ください。



ブランドアンバサダーによる和歌山梅酒セミナー



ベストマリアージュ／火炙りにしたウアンデ産サバ料理

また、「梅酢ポリフェノール」に新型コロナウイルスの増殖を抑制する効果が期待できるという研究結果が発表されており、県では引き続き和歌山梅酒の認知度向上に向けた取組を進め、その魅力をPRしていきます。

【和歌山梅酒プロモーション in フランス】



イベント動画



インタビュー動画



プロモーションビデオ

●世界を目指して！ ～第13期ゴールデンキッズ修了式～

3月13日、晴れて3年間の育成プログラムを修了し、将来トップアスリートとしての活躍が期待される「ゴールデンキッズ」13期生41名の門出を祝い、修了式が開催されました。



修了証を手にする13期生のみなさん

県では、平成18年度から、県内の優れた素質を有する子供たちを早期に見出し、発達段階に応じた「育成プログラム」を展開することで、将来オリンピックをはじめとする国際舞台で活躍する競技者を育てることを目的とした「ゴールデンキッズ発掘プロジェクト」を開始しています。令和3年度で16年目を迎えたこのプロジェクトでは、これまで445名が修了し、国際大会や全国大会で活躍しています。

修了式では、宮崎教育長から修了証の授与や記念品の贈呈を行い、「思い出アルバム（DVD映像）」の鑑賞のあと、南出悠人君、柳室姫那さんが「ゴールデンキッズで学んだ積極性を忘れず、何事にも挑戦していきます。そして、今まで支えていただいたすべての方々に感謝し、これからもがんばります。」と「代表のことば」を述べました。

子供たちは、明るい未来を切り拓いていく私たちの希望です。これからも世界のトップアスリートを目指す子供たちを応援するとともに、世界で活躍する修了生の皆さんを様々な方法で支えていきます。

【令和3年度 ゴールデンキッズ修了生の活躍（敬称略）】

期	競技名	氏名	成績
1	レスリング	吉田 隆起	2021年世界選手権大会 男子フリースタイル79kg級／5位 2021年アジア選手権 男子フリースタイル79kg級／10位
1	野球	津田 翔希	第46回社会人野球日本選手権大会／ <b>3位</b>
1	ハンドボール	松岡 寛尚	第73回日本ハンドボール選手権大会／ <b>2位</b>
3	バドミントン	山下 玄	第72回全日本学生バドミントン選手権大会 女子シングルス／出場 女子団体／ <b>3位</b>
5	空手道	武田 風人	2021年度全日本強化選手【男子組手84kg級】 2021年度U-21強化選手【男子組手84kg級】
5	カヌー	小林 実央	第57回全日本学生カヌースプリント選手権大会WC-1 200m／ <b>1位</b> WC-2 500m／ <b>1位</b> *【女子カナディアン部門】最優秀選手賞受賞
8	アーチェリー	矢渡 茜	第17回世界アーチェリーユース選手権大会（キャデット部門）団体／5位 個人／9位 U-17ナショナルチームメンバー選出 2022 U-20ナショナルチームメンバー選出
8	サッカー	北野 颯汰	U-17日本代表選出
9	陸上競技	坂本 実南	ジュニアオリンピックカップ第15回U16陸上競技大会女子100m／4位
10	ボート	木地 紗都樹	第41回全日本中学選手権競漕大会女子シングルスカル／4位
10	ライフル射撃	土井菜々栞	第6回ヤングスターランクリスト競技会サマーカップ BR60W／ <b>3位</b>
11	ボート	巽 丹乃	第41回全日本中学選手権競漕大会女子舵手付きクォドルプル／4位
12	ハンドボール	東谷 昊佑	第17回春の全国中学生ハンドボール選手権大会／ <b>3位</b>

● ガーデンツーリズム登録制度に「わかやま庭園回遊」登録決定！

庭園間交流連携促進計画登録制度（ガーデンツーリズム登録制度）は、複数の庭園が地域固有のテーマに基づき連携し、魅力的な体験や交流を創出、もって地域の活性化を図ることを目的とし、国土交通省が平成31年4月に創設した制度です。

このたび、和歌山県ガーデンツーリズム推進協議会による計画「わかやま庭園文化と歴史回遊～紀州徳川家の城下町から高野山へ 紀の川の恵みを感じる旅～」(愛称「わかやま庭園回遊」)が本制度に登録されることが決定しました。

4月27日に熊本市で開催される「第38回全国都市緑化くまもとフェア・都市緑化シンポジウム」において登録証交付式が実施される予定です。

県としましては、多くの観光客にその素晴らしさを味わっていただくため、新たな観光資源としての庭園を広くPRしていきます。

<わかやま庭園文化と歴史回遊>

ストーリー	
<p>古来、人々の生活を支えてきた紀の川とその周辺地域。万葉人が旅の感動を歌に詠んだ「和歌の浦」、中世以降に巡礼地として隆盛を迎えた高野山と粉河寺、学山として発展した根来寺は、いずれも古くからの旅の目的地であった。さらに、江戸期の紀州徳川家による城下町とその周辺地域の繁栄は、豊かな文化を形成し、多くの人々をこの地域に惹きつけてきた。</p> <p>これら地域に花開いた庭園文化を現在に伝える「紀州徳川家ゆかりの庭園」と「高野山の庭園」を中心として、地域の多彩な歴史・食文化や文化体験プログラムを組み合わせた周遊観光を国内外に向けて提案し、交流人口の拡大と地域に対する理解向上を図る。</p>	
構成庭園	
<p><b>◆紀州徳川家ゆかりの庭園</b></p> <p>徳川御三家の一つ・紀州徳川家の城下町として繁栄した和歌山市を中心に歴代藩主が趣向を凝らした庭園が遺る。</p> <p>城下町の郊外には、中世に多くの学僧を抱えた「根来寺」と西国三十三所霊場の第三番札所として信仰を集める「粉河寺」が位置し、それぞれ豊臣秀吉の紀州攻めにより一度は荒廃したものの、紀州徳川家の庇護を受けて再興し、歴史・文化的に価値ある庭園を現在に遺す。</p> <p>①養翠園（約33,000㎡）                  ②番所庭園（約15,000㎡）                  ③和歌山城西之丸庭園（8,217㎡）                  ④根来寺庭園（約32,000㎡）                  ⑤粉河寺庭園（約3,422㎡）</p> 	   
<p><b>◆高野山の庭園</b></p> <p>紀伊山地の霊場として世界文化遺産にも登録されている聖地「高野山」における庭園は、各地から訪れた大名など参拝客をもてなしたことに由来する。総本山金剛峯寺の庭園をはじめ、51ある宿坊それぞれが多彩で魅力溢れる庭園を有し、日本の原風景を求めて世界中から訪れる旅人を魅了している。</p> <p>⑥金剛峯寺蟠龍庭・四季の庭（2,340㎡）</p>	 

●和歌山県手話動画を公開中です

誰もが「手話」に親しみ、ろう者と聞こえる人がお互いを理解し合う共生社会の実現を目指して、平成 29 年に議員提案による「和歌山県手話言語条例」が制定されてから今年で 5 年目を迎えました。

これまで県では、手話に触れることで関心を持ってもらうために「はじめての手話講座」や手話通訳者等の養成講座の開催及び県主催講演会やイベント等への手話通訳の配置など、手話の普及及び利用促進に取り組んできました。

このたび、皆さんに手話について更なる関心を持っていただくため、簡単な手話を紹介する動画を YouTube 上で公開していますので、ぜひご覧ください。



「手話紹介動画」  
QR コード

●和歌山県文化表彰受賞記念公演「音楽と対話」を開催します

県では、昭和 39 年から文化の向上発展に特に顕著な功績のある方々に和歌山県文化表彰をお贈りしております。令和元年度に文化功労賞を受賞された石黒晶<sup>いしぐろさやか</sup>さん（作曲家）に来月 5 月 28 日に記念公演を行っていただきます。

石黒さんは、和歌山市出身。東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程を修了。作曲家として多くの作品を発表し、数々の賞を受賞しています。代表作であるオペラ「みすゞ」は新国立劇場での初演後に音楽誌上で高く評価され、海外からも注目されています。また、器楽分野では「弦歌三章」が N.Y. カーネギーホールで上演され、スタンディングオベーションを得るなど、国際的にも高い評価を受けており、現在は神戸女学院大学名誉教授を務められています。



作曲家 石黒晶さん

記念公演では石黒さんに、新作披露を交えながら、音楽の魅力や文化の持つ力について対談形式で分かりやすくお話しいただきます。

記念公演の申込期限は 4 月 22 日です。オンライン配信も行いますので、この機会に本県が誇る受賞者の優れた文化の世界に触れてください。

県では、「未来を拓くひとを育む和歌山」実現のため、今後も和歌山県文化表彰受賞者の皆さんの功績の顕彰を行っていきます。

▶ご案内チラシ URL

[https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/022100/hyosho/kinenjigyo\\_d/fil/tirasi.pdf](https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/022100/hyosho/kinenjigyo_d/fil/tirasi.pdf)

▶申し込み URL

<https://shinsei.pref.wakayama.jp/ltWZVpsQ>

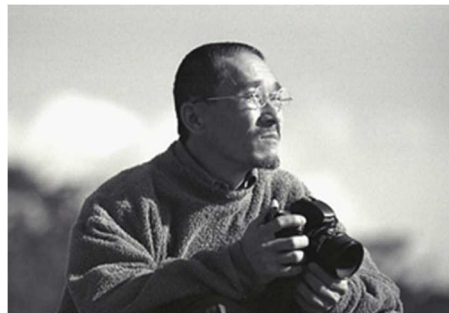


●写真家の阿部秀樹さんから紀伊半島沖の写真を寄贈いただきました

日本の海と、それを取り巻く人や生物のさまざまな姿をテーマとして撮影されている写真家の阿部秀樹さんから、黒潮、特に紀伊半島沖の海中を撮影した19点の作品を寄贈いただきました。

阿部さんは、1957年神奈川県藤沢市に生まれ。立正大学文学部地理学科卒業。最近では日本国内の海に眼を向け、知床半島から沖縄まで幅広く活動しています。ライフテーマとして、水中生物の繁殖行動、夜の海、水中の四季の撮影や国内外の研究者と連携して頭足類（イカ・タコ）の撮影も行っています。

寄贈いただいた作品は、和歌山県立図書館などで展示しています。阿部さんの写真をとおして、普段見たり、触れたりできない紀伊半島沖の海中について知っていただければと思います。ぜひ展示会にお越しください。



写真家 阿部 秀樹 さん



サンゴの写真(紀伊大島須江)

【写真の展示】

展示場所：和歌山県立図書館1階ギャラリー

開催日：令和4年3月23日（水）～5月11日（水）

●「古代「紀伊国」の成り立ち－奈良・平安時代のわかやまー」が開催中

県立紀伊風土記の丘では、現在、春期企画展として「古代「紀伊国」の成り立ち－奈良・平安時代のわかやまー」を開催しています。

本展示では、遺跡から出土した瓦や、役人たちが使用した硯すずり、文字の書かれた土器などの考古資料から古代の紀伊国の役所や寺院を考えるとともに、土馬どばや人形ひとがたなどの祭祀具、火葬墓に用いた優美な藏骨器など、都からの影響を受けたこの時代の文化を紹介し、7世紀から10世紀頃における古代の「紀伊国」の成り立ちとその変化を紐解きます。



硯(奈良時代)  
西国分廃寺(岩出市)

【開催概要】

会 期 令和4年3月19日（土）～6月19日（日）

開館時間 9時～16時30分（入館は16時まで）

休 館 日 月曜日（月曜日が祝休日の場合は次の平日）

## ●ふるさと和歌山応援寄附(ふるさと納税)のご案内

ふるさと和歌山応援寄附は、「ふるさと和歌山を大切にしたい」、「和歌山を応援したい」という思いを具体化するための制度です。これまで多くの御寄附と力強い応援メッセージを数多くいただいております。

県では、ふるさと和歌山応援寄附を「世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』の保全や活用」や「がん対策の充実」などの分野で活用させていただいております。

御寄附につきましては、申出からクレジット決済等までを同時に行うことが可能なふるさと納税総合サイトをご利用ください。

和歌山県外にお住まいで1万円以上の御寄附をいただいた方には、和歌山県優良県産品（プレミアム和歌山）として県が認定した商品等の中から、事業者の協力を得て選定した返礼品の中から1品をお選びいただけます。和歌山県が誇る優良産品をぜひご堪能ください。

ふるさと和歌山応援寄附についての詳細は、和歌山県のホームページ上の「ふるさと和歌山応援サイト」に掲載しています。

これからも、ふるさと和歌山応援寄附にご協力いただきますようお願い申し上げます。

## ふるさと和歌山応援サイト(和歌山県へのふるさと納税)

「ふるさと」聞いてみなさんが想像するものは何でしょう。  
和歌山県では、「元気な和歌山」を創造していくため、さまざまな施策の推進に取り組んでいます。  
ぜひ、皆様も寄附を通じてふるさと和歌山を応援してください。



ふるさと和歌山応援サイト

検索

## 各ポータルサイトのQRコードはこちら

ふるさとチョイス



ふるなび



ANAのふるさと納税



ふるラボ



JALふるさと納税



\*\*\*\* ふるさと和歌山応援寄附（ふるさと納税）に関しましては \*\*\*\*

★お問合せ・申込窓口★

〒640-8585

和歌山市小松原通一丁目1番地

総務部総務管理局税務課

担当 棚野、宮田、小弓場

電話 073-441-2186(直通)

FAX 073-423-1192

E-mail: furusato-ouen@pref.wakayama.lg.jp

★お問合せ窓口★

〒102-0093

東京都千代田区平河町2-6-3

都道府県会館12階

和歌山県東京事務所

担当 前

電話 03-5212-9057

FAX 03-5212-9059

●ふるさと和歌山応援寄附を活用して行う県の取組

<p>1 新型コロナウイルス感染症対策【お礼の品なし】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の対策をすすめます。</p> 	<p>8 地元企業への就職を促進する奨学金返還支援</p> <p>和歌山の経済を牽引する製造業や情報通信業の将来の担い手となる人材の確保を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>理系の大学生等を対象に県内の製造業や情報通信業などの業務を行う企業に就職し、3年勤務した場合、奨学金の返還を最大100万円助成します。</li> </ul> 
<p>2 生涯スポーツ・文化の振興</p> <p>全国規模の大会の開催を通じて、生涯スポーツの振興と文化力の向上を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワールドマスターズゲームズ関西</li> <li>全国高等学校総合体育大会ヨット競技大会等の開催をすすめます。</li> </ul> 	<p>9 学校図書館や県立図書館の蔵書の充実</p> <p>和歌山の未来を担う子供の育成や県民の読書文化の向上のため、学校図書館や県立図書館の蔵書の整備をすすめます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県立学校の図書館の蔵書の充実をすすめます。</li> <li>県立図書館の蔵書の充実をすすめます。</li> </ul> 
<p>3 子供たちの教育環境の充実【お礼の品なし】</p> <p>各学校において、「教育環境の充実」、「特色ある学校づくり」などをすすめます。</p> <p>母校など寄附をしたい高等学校（私立も含む）や特別支援学校があれば指定することができます。</p> 	<p>10 わかやまの美しい海づくり</p> <p>黒潮の恵みを受ける和歌山は、リアス式の美しい風景に彩られた約652kmにも及ぶ長い海岸線と数多くの海水浴場を有しています。ふるさとの海を守り、より美しくして海のレクリエーションを盛んにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>白良浜海水浴場</li> <li>片男波海水浴場</li> </ul> <p>などの砂浜の整地をすすめます。</p> 
<p>4 がん対策の充実</p> <p>和歌山はがんで亡くられる方が多い県です。がんになっても安心して治療が受けられ、自分らしく生きることができるよう支援制度を充実していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>所得等が一定以下のがん患者の方に対して、先進医療の一部を補助します。</li> <li>若年がん患者の方に対して、生殖機能の温存や療養生活の充実に向けた支援を行います。</li> </ul> 	<p>11 わかやまの文化財の保護</p> <p>和歌山県には重要な歴史資産がたくさんあり、全国で国宝は6番目、重要文化財は7番目に多いところです。ふるさとの大切な文化財を保全して未来に伝え、郷土の活性化に寄与します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国・県指定文化財の建築物修理や史跡整備等を支援します。</li> </ul> 
<p>5 犬・猫の殺処分ゼロを目指す活動への支援</p> <p>和歌山県は、犬・猫の殺処分をなくすことを目標に、地域猫活動や新しい飼い主を探す活動に取り組む地域住民やボランティアを支援しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの活動で約5,300匹の野良猫に不妊去勢手術が施され、新しい家族が見つかった犬・猫は約2,000匹います。この支援を継続して、早期に「殺処分ゼロ」を実現します。</li> </ul> 	<p>12 大切なふるさとの森を守り育てる</p> <p>和歌山は古くから「木の国」と呼ばれ、県土の77%が森林です。森林は洪水や濁水の緩和、生物多様性の保全、地球温暖化防止と限りない恵みを与えてくれます。かけがえのない森林を守り育て、継承していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>和歌浦地区等の松くい虫防除対策をすすめます。</li> </ul> 
<p>6 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全や活用</p> <p>和歌山の世界遺産をかけがえのないふるさとの宝、人類共通の宝として保全・活用し、次世代に継承していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参詣道の維持管理・パトロールを行います。</li> <li>世界遺産・周辺地域の風水害等に対する緊急修繕等を行います。</li> </ul> 	<p>13 わかやまのナショナル・トラスト</p> <p>和歌山は、みどり豊かな山々と雄大豪壮なリアス式海岸など、かけがえのない自然や歴史的資産を数多く有しています。これらの自然を保全し、次の世代に引き継いでいきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県民の公有財産として未永く保全していくために、自然環境の整備や土地の公有化をすすめます。</li> </ul> 
<p>7 南紀熊野ジオパークの推進</p> <p>令和元年7月に完成した「南紀熊野ジオパークセンター」を拠点に、ユネスコ世界ジオパーク認定に向けた取組を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>南紀熊野ジオパークセンターの充実をすすめます。</li> </ul> 	<p>14 わかやまの農林水産業の振興</p> <p>和歌山県の農林水産業は、地域経済や雇用を支える重要産業であり、食料供給や自然・景観保全など、様々な役割を果たしています。大切な農林水産業を振興し、次の世代に引き継いでいきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農林水産業の担い手の確保・育成対策を充実させます。</li> <li>農林水産業の生産性の向上をすすめます。</li> <li>農林水産業の魅力を国内外へ発信します。</li> </ul> 

※ 充当事業につきましては、状況の変化等により、変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。  
 ※ お寄せいただいた寄附金の成果につきましては、「ふるさと和歌山応援サイト」などで報告させていただきます。

## ●和歌山の食の総合ポータルサイト「おいしく食べて和歌山モール」の御案内

県では、令和3年7月1日から県産品を生産販売する県内事業者の商品販売ページを紹介するインターネットショッピングモール「おいしく食べて和歌山モール」を開設しています。和歌山の特産品である梅干しや梅酒のほか、柑橘や果実加工品、しらすや干物等の水産加工品、菓子類など、様々な商品をご紹介します。

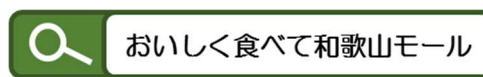
大手ショッピングモールサイトと自社のサイトで同時に販売しているなど、同一の商品について販売サイトが複数ある場合は、商品購入用リンクを並列して複数掲載し、消費者の好みに合わせて購入できるようにしています。

また、旬や催事にあわせた特集や産地の魅力情報など、特集・企画ページも随時掲載しています。3月には和歌山県ふるさと広報大使の中島由貴さんによる県産品PR動画コーナーもオープンしました。今後さらにコンテンツを充実させていきます。

本サイトを通じ食の宝庫和歌山の魅力を感じていただくとともに、和歌山県の商品を購入される際は、ぜひご活用ください。



<おいしく食べて和歌山モールはこちら>  
<https://oishii-wakayama.com/>



**イベント情報(4月下旬～5月中旬)**

\*掲載の情報は、令和4年3月末時点のものです。新型コロナウイルス感染症の影響等により、規模の縮小や中止となる場合があります。最新の情報は、各主催者へお問い合わせください。

開催日・期間	行事名	場所	問い合わせ先
4月29日	生石高原山開き	生石高原	有田川長商工観光課 0737-52-2111(代) 生石高原観光協会事務局(紀美野町産業課内) 073-489-5901
4月上旬～ 5月5日	こいのぼりの丹生川渡	丹生川 (九度山町入郷)	くどやま I LOVE 運動 推進会(九度山町商工 会内) 0736-54-4268
5月3日	鹿島神社明神祭	鹿島神社	鹿島神社 0739-72-4573
5月3日	船玉神社祭	船玉神社	熊野本宮観光協会 0735-42-0735
5月5日	紀州九度山真田まつり	道の駅「柿の 郷くどやま」 芝生広場ほか	真田祭実行委員会(九度 山町役場産業振興課内) 0736-54-2019
5月15日	和歌祭 四百年式年大祭	紀州東照宮 和歌山市和歌 浦周辺	和歌祭保存会 073-444-0808

**自然・風物情報(4月下旬～5月下旬)**

時期	自然・風物名	場所	問い合わせ先
4月下旬	イサキ漁最盛期	印南町	印南町役場企画産業課 0738-42-1737
～5月上旬	川又観音のシャクナ ゲが見頃	川又観音	印南町役場企画産業課 0738-42-1737
～5月上旬	藤棚ロード	リフレッシュエリ アみやまの里	美山温泉 愛徳荘 0738-57-0241
～5月下旬	ボタン見頃	真田庵周辺	九度山町役場産業振 興課 073-54-2019

～編集後記～

4月に入り過ごしやすい季節となり新年度がスタートしました。みなさまの周りにも「入園」、「入学」、「入社」など新たな1歩を踏み出した方がいらっしゃると思います。みなさまはいかがお過ごしでしょうか。

今月も「和歌山だより」をご覧いただきありがとうございます。

新年度、新学期といえば、私の話で恐縮ですが、子供の頃から1年のうちでこの時期、特に、新しい教室に入って、配られた新しい教科書を開く瞬間が大好きでした。教科書は、前の学年のときよりも分厚くなっていて、文字も小さくなっている、そこに自分たちの成長を確認できたような気がして、「よーし、今年もがんばるぞ」と気を引き締めた頃が懐かしいです。

さて、この4月、引き続き『和歌山だより』の編集長をさせていただくこととなりました。お読みいただいた方からの温かいメッセージには、いつもパワーをいただいています。少しご紹介させていただきます。

☒「早速、隅々まで拝読、(中略) 全体の内容も豊かで、読みごたえがあります。知らないことが多くて、大変有益な勉強になります。これから大いに活用させていただきます。」(♡ありがとうございます。とても励みになります。)

☒「3月号の表紙の写真が美しいので、友人に送ってください。」(♡ありがとうございます。喜んでお送りさせていただきます。)

☒「ふるさと和歌山応援寄付(ふるさと納税)のポータルサイト、初めて見ました。和歌山の美味しいものがいっぱいワクワクしました。」(♡ありがとうございます。これからも和歌山の旬、ワクワクをお届けしてまいります。)

みなさま、温かいメッセージ、ありがとうございました。これからも、和歌山の旬の話題、ホットな情報をお届けしてまいります。どうぞよろしく願いいたします。

みなさま、どうぞお身体にお気をつけてお過ごしください。



知事室 秘書課長 西山 雅美

★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんでいただけますのでぜひご覧ください。

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせください。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供ください。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。(下記のFAX(様式自由)、E-Mail等でお願いたします。)

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ <https://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/010500/furusato/>

\*個人情報につきましては、「和歌山だより」の発行以外の目的には、使用いたしません。



2022年(令和4年)4月 NO.168

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2026